



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 東

コード番号 5757 URL <https://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	64,341	14.5	4,400	24.3	6,412	19.1	3,991	21.8
2022年3月期第2四半期	56,198	101.8	5,816	446.0	5,384		3,277	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,462百万円 (20.3%) 2022年3月期第2四半期 3,708百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	484.02	
2022年3月期第2四半期	393.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	82,494	47,748	51.0	5,107.46
2022年3月期	71,099	43,893	54.2	4,649.01

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 42,103百万円 2022年3月期 38,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		30.00		40.00	70.00
2023年3月期		30.00			
2023年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	9.2	6,500	39.7	9,300	41.5	6,000	39.1	727.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	8,867,000 株	2022年3月期	8,867,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	623,521 株	2022年3月期	580,521 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	8,247,421 株	2022年3月期2Q	8,321,541 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波に見舞われましたが、オミクロン株は感染力が強いものの重症化リスクは低かったため、経済活動の継続が優先されました。また、半導体不足や海外からの部品の調達難が長期化し、自動車をはじめとする様々な業界で生産障害が発生しました。更に、ウクライナ戦争が長期化し、資源・エネルギー価格が高騰したため、国内企業物価は上昇を続け、消費者物価も上昇しました。加えて、世界的に金融引き締めが進む中で、日本銀行が金融緩和を継続したため、内外金利差により、外国為替市場で円安が進行しました。こうした経済情勢を反映し、当社グループ（当社及び連結子会社）における各種購入品の価格が上昇しました。当社グループが主要原材料として使用している国際相場商品の銅は、中国における経済活動の停滞等を材料に、LME（ロンドン金属取引所）の価格が大幅に下落しましたが、外国為替市場で円安が進行したため、国内建値は高いまま推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、銅相場が前年同期と比較して高い水準であったため、売上高は643億41百万円（前年同期比14.5%増加）となり、営業利益は44億円（同24.3%減少）となりました。営業外損益として、デリバティブ利益が7億72百万円、デリバティブ評価益が12億34百万円発生したため、経常利益は64億12百万円（同19.1%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億91百万円（同21.8%増加）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

伸銅

伸銅事業では、販売量は5万4,806トン（前年同期比3.8%減少）、売上高は559億90百万円（同14.2%増加）となり、セグメント損益は33億39百万円のセグメント利益（同31.2%減少）となりました。

精密部品

精密部品事業では、売上高は30億75百万円（前年同期比27.6%増加）となり、セグメント損益は3億27百万円のセグメント利益（同67.7%増加）となりました。

配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は52億75百万円（前年同期比11.2%増加）となり、セグメント損益は5億90百万円のセグメント利益（同0.5%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は611億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ118億53百万円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が17億54百万円、電子記録債権が59億10百万円、棚卸資産が28億3百万円増加したことによるものであります。固定資産は213億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億58百万円減少しました。この結果、資産合計は824億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ113億95百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は321億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億33百万円増加しました。これは主に、短期借入金が92億20百万円増加したことによるものであります。固定負債は26億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6百万円増加しました。この結果、負債合計は347億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億39百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は477億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億55百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が39億91百万円であったことによるものであります。この結果、自己資本比率は51.0%（前連結会計年度末は54.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年8月12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	679	1,136
受取手形、売掛金及び契約資産	19,003	20,758
電子記録債権	5,772	11,683
商品及び製品	7,282	7,690
仕掛品	7,792	9,120
原材料及び貯蔵品	7,312	8,378
その他	1,560	2,503
貸倒引当金	△91	△106
流動資産合計	49,310	61,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,532	13,624
減価償却累計額	△6,188	△6,409
建物及び構築物 (純額)	7,344	7,215
機械装置及び運搬具	25,448	25,887
減価償却累計額	△21,864	△22,502
機械装置及び運搬具 (純額)	3,584	3,384
土地	7,020	7,020
建設仮勘定	173	174
その他	2,381	2,544
減価償却累計額	△2,036	△2,134
その他 (純額)	345	409
有形固定資産合計	18,467	18,205
無形固定資産		
のれん	164	117
ソフトウェア	329	384
ソフトウェア仮勘定	44	—
その他	67	12
無形固定資産合計	606	514
投資その他の資産		
投資有価証券	1,351	1,281
退職給付に係る資産	14	14
繰延税金資産	1,260	1,237
その他	90	77
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,715	2,610
固定資産合計	21,788	21,329
資産合計	71,099	82,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,424	9,509
短期借入金	8,440	17,660
未払金	280	87
未払費用	1,080	704
未払法人税等	1,340	2,088
賞与引当金	1,050	1,112
設備関係支払手形	1,280	446
その他	1,798	520
流動負債合計	24,695	32,128
固定負債		
繰延税金負債	319	322
再評価に係る繰延税金負債	280	280
退職給付に係る負債	1,586	1,647
その他	323	365
固定負債合計	2,510	2,616
負債合計	27,205	34,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,507	4,567
利益剰余金	32,148	35,795
自己株式	△1,367	△1,541
株主資本合計	38,046	41,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56	△62
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△8	32
退職給付に係る調整累計額	△22	△11
その他の包括利益累計額合計	477	524
非支配株主持分	5,369	5,645
純資産合計	43,893	47,748
負債純資産合計	71,099	82,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	56,198	64,341
売上原価	48,051	57,446
売上総利益	8,146	6,894
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	668	660
給料及び手当	565	585
退職給付費用	14	17
貸倒引当金繰入額	14	3
その他	1,067	1,227
販売費及び一般管理費合計	2,330	2,494
営業利益	5,816	4,400
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	18	23
デリバティブ利益	—	772
デリバティブ評価益	104	1,234
業務受託料	24	24
雇用調整助成金	1	—
その他	114	187
営業外収益合計	265	2,244
営業外費用		
支払利息	10	12
デリバティブ損失	272	0
デリバティブ評価損	405	202
クレーム補償費	1	3
その他	8	13
営業外費用合計	697	232
経常利益	5,384	6,412
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	5	6
特別利益合計	5	6
特別損失		
固定資産除却損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	5,387	6,417
法人税等	1,674	2,005
四半期純利益	3,713	4,412
非支配株主に帰属する四半期純利益	435	420
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,277	3,991

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,713	4,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△2
為替換算調整勘定	14	41
退職給付に係る調整額	△0	11
その他の包括利益合計	△4	49
四半期包括利益	3,708	4,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,275	4,038
非支配株主に係る四半期包括利益	433	423

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,387	6,417
減価償却費	1,169	1,038
のれん償却額	67	46
有形固定資産除却損	2	1
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
為替差損益 (△は益)	△27	△75
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12	62
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	62	71
受取利息及び受取配当金	△21	△25
支払利息	10	12
雇用調整助成金	△1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,434	△7,150
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,449	△2,691
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	507	△170
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,316	△103
未払消費税等の増減額 (△は減少)	200	△424
デリバティブ評価損益 (△は益)	300	△1,031
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△316	△709
その他	165	△680
小計	969	△5,407
利息及び配当金の受取額	21	25
利息の支払額	△16	△12
雇用調整助成金の受取額	1	—
法人税等の支払額	△193	△1,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	782	△6,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△709	△1,655
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△0	△45
投資有価証券の取得による支出	△4	△25
投資有価証券の売却による収入	—	11
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△330	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,044	△1,806

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200	9,220
自己株式の処分による収入	682	—
自己株式の取得による支出	△290	△174
子会社の自己株式の取得による支出	△82	△82
配当金の支払額	△263	△345
非支配株主への配当金の支払額	△5	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	238	8,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7	260
現金及び現金同等物の期首残高	1,735	679
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	196
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,728	1,136

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

前連結会計年度末において非連結子会社でありました株式会社サンエツ商事は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

前事業年度の有価証券報告書（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	49,044	2,409	4,742	56,197
その他の収益	1	—	—	1
外部顧客への売上高	49,046	2,409	4,742	56,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,802	43	4	2,849
計	51,848	2,452	4,747	59,048
セグメント利益	4,854	195	593	5,643

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,643
セグメント間取引消去	411
全社費用	△238
四半期連結損益計算書の営業利益	5,816

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	55,989	3,075	5,275	64,339
その他の収益	1	—	—	1
外部顧客への売上高	55,990	3,075	5,275	64,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,739	40	4	3,784
計	59,729	3,115	5,280	68,125
セグメント利益	3,339	327	590	4,257

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,257
セグメント間取引消去	408
全社費用	△265
四半期連結損益計算書の営業利益	4,400

（重要な後発事象）

該当事項はありません。